

調査・研修等計画届出書

令和 5年 1月 17日

瀬戸市議会議長 様

議員名 朝井 賢次 ㊟

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

| | | |
|--|--|---------|
| 期 日 | 令和5年1月30日から 1月31日まで（1泊2日） | |
| 会場名（会場所在地） | 福岡県福岡市博多区 | |
| 調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて） | 本市は財政の健全性と自主性の確保をはかりつつ、時々の危機に対応し、市民に最も身近な存在として安全と安心を確保してきた。今後は少子高齢化が加速化する中、先行き不透明な新型コロナウイルス感染症に着実に対応する為に、確固とした財政基盤が重要であると考え。本市の持続可能な未来を目指し、議会議員として予算決算審査を効果的に行う為に今研修を受講する。 | |
| 議長名の依頼 | 要 ・ 不要 | 依頼先（名称） |
| | | |
| 同行者名 | 西本 潤 | |

※行程表を添付してください。

財政基礎研修

Level 2

決算カードで
わかる

我が街の 財政徹底解説編

1月30日(月) in博多

2月8日(水) in東京

10:00~12:30

決算カード1「収入の基礎徹底解説」

- ・決算カードとは何か?見方を学ぼう
- ・地方交付税と臨時財政対策債を決算カードで見てみる
- ・令和5年度予算のポイントを最新解説
- ・債務負担行為と一時借入金について把握の仕方

14:00~16:30

決算カード2「支出の基礎徹底解説」

- ・支出の推移と構成比から未来を予測しよう
- ・見えにくい公営企業等の財政を見る
- ・各支出について自分の街の決算カードを見て確認
- ・積立金と借金はコロナでどんな影響があったか
~質疑例を踏まえて解説~

1月31日(火) in博多

2月9日(木) in東京

10:00~12:30

決算カード3「財政収支の見方」

- ・自治体財政の赤字問題と直近の財政課題
- ・各自治体の財政収支の事例から財政危機の予兆を学ぶ
- ・実は赤字?本当の収支を決算カードで確認
- ・コロナを踏まえた財政収支の考え方

14:00~16:30

決算カード4「財政指標の見方」

- ・財政力指数とは何か、正確に理解していますか?
- ・自分の街の施設などの資産の老朽化比率
- ・経常収支比率の基礎的理解と議会での質疑例
- ・総務省のスタンスから考える今後の自治体財政

講師紹介

もり ひろゆき
森 裕之

立命館大学政策科学部
教授、
博士(政策科学)

略歴

1967年大阪府生まれ。大阪市立大学商学部、同大学院経営学研究科後期博士課程中退後、高知大学助手。その後、高知大学専任講師、大阪教育大学専任講師・助教授を経て、2003年から立命館大学政策科学部助教授。2009年より同教授。財政学とくに地方財政と公共事業を専攻。また、社会的災害(アスベスト問題など)についても公共政策論としての立場から考察。

著書・共著

『公共事業改革論』(有斐閣、2008年)
『検証・地域主権改革と地方財政』(自治体研究社、2010年)、
『地域共創と政策科学』(見洋書房、2011年)

論文・研究発表

『国土強靱化』の財政と地域政策(2013年)
社会資本の老朽化問題(2012年)
公共事業と一括交付金(2012年)等



調査・研修等報告書

令和5年2月9日

瀬戸市議会議長 様

議員名 朝井 賢次 ㊟

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

| | |
|---|--|
| 期 日 | 令和5年1月30日から1月31日まで（1泊2日） |
| 調査先・研修名 | 地方議員セミナー（支出の基礎徹底解説・財政収支の見方） |
| 会場名（会場所在地） | 福岡県福岡市博多区 |
| 調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて） | 本市は財政の健全性と自主性の確保をはかりつつ、時々の危機に対応し、市民に最も身近な存在として安全と安心を確保してきた。今後は少子高齢化が加速化する中、先行き不透明な新型コロナウイルス感染症に着実に対応する為に、確固とした財政基盤が重要であると考えます。本市の持続可能な未来を目指し、議会議員として予算決算審査を効果的に行う為に今研修を受講する。 |
| 調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等 | |
| 30日 支出の基礎徹底解説講座 講師 森 裕之先生（立命館大学政策科学部教授） 歳出の原則 「収入の範囲で最大の福祉を実現する」 なお、自治体は借金できる範囲が制限されている上に、国の財政統制制度に服さなければならない。 具体的な要件は2つ ① 住民のニーズに合った事業を行っている （例）住民が必要とする福祉サービスが足りない一方で、建てた公共施設が誰にも使われない。 | |

② 費用が必要最低限まで絞ってある（コスパがよい）

（例）同じサービスなのに所要時間に差がある

- ※ 予算を公平に使うの「公平」とは「必要な予算を優先順位通り使う」ことでありそれは各自治体によって違う。

目的別歳出・・・行政目的毎に歳出を分類したもの（歳出項目で明記）

性質別歳出・・・経費の経済的な性質毎に歳出を分類したもの

- ※ 自治体財政の分析にとっては、性質別歳出の方が重要である

目的別歳出の分類の仕方は国における各省の縦割りである

総務費…総務省、商工費…経済産業省、衛生費…厚生労働省（水道事業は国交省とみられがちであるが実は厚生労働省である）、土木費…国土交通省（下水道事業はこちらに分類される）等々

義務的経費…人件費、扶助費、公債費、でありこれらの割合が増えると自治体財政の硬直化を招く

P F I は自治体事業に経済的インセンティブをもたらすか？

直営の場合…公債費による建設費用の割賦＋人件費等による運営費

P F I の場合…物件費による建設費用の割賦払い＋物件費による運営費
および「利益」支払い

- ※ 論理的には金利、利益を生み出さなくてはいけないので直営の方が費用は抑えられる。サービスや専門性は別の議論であるが…

↓

イギリス財務省は報告書の中で「P F I は直営に比べて、学校で40%、病院で70%も費用が高い」として今後の新規案件についてはP F I を採用しないことを表明した。

歳出を見る場合の注意点（総論）

各歳出項目の大きさだけを見ず、その中に含まれる一般財源の負担分をみる。

- ※ 地方債が財源として多い場合は、その元利償還金（公債費）が将来の自治体の一般財源の負担になることに注意
- ※ 建設費（投資的経費）はその後の維持管理がすべて自治体の一般財源の負担で賄わなければならない、さらに完成後の維持管理費は一般財源の負担となる。

↓

だから建物の統廃合を進めていくことは財政的には有利なのである。

特別会計の住民負担を考える

特別会計には、保険料や使用料などの住民負担によって賄われる収入が含まれるものが多いため、保険料や使用料の引き上げは、一般会計による財政負担を軽くする一方で、それに関わる住民の負担が重くなる。

一般会計は「住民みんなのお金」であるため、特別会計の保険料や使用料の政策的引き下げは、住民みんなでそれに関わっている一部の住民の経済的負担の軽減を行うことを意味する。

なお一部の住民のための政策対応であっても、それが福祉的要素（垂直的公平）に基づく場合には是認される。



特別会計の住民負担を考える際には、これらの内容を総合した上で判断する。

31日

財政収支の見方

30日に引き続き 森 裕之先生

財政の黒字・赤字の視点

財政にとって、黒字が大きい事は良くない

なぜならば、自治体の財政運営の目的は利益を上げるのではなく黒字分をなるべく住民に還元することが必要なため。

財政にとって、赤字（収入<支出）は避けなければならない

※これが唯一のルールでありこれを遵守すれば使途は首長・議会の判断
なぜならば、法律的にも自治体は赤字予算が組めないと解釈されている。

財政の黒字は基金に積み立てることで、将来の財政運営の安全を確保することも大切である。それを住民サービスとして支出するか、将来に備えて基金積み立てをしていくのかの判断は政治の役割。

重要…黒字であっても基金取り崩し（繰り入れ）をしてそれを保っているのか
基金繰り入れが常態化していくことは財政危機へと向かっている。

自治体の黒字のうち2分に1以上は、基金（この場合はどんな基金でもよい）に積み立てるか、繰り上げ償還に回さなければならない。

財政破綻の足音を察知するには

実質単年度収支の赤字額が大きく、それが複数年度にわたって続いてないか
財政調整基金等の残高が減っていく傾向にないか。

一般財源が増えない一方で、人件費、扶助費、公債費などの義務的な経費の負担が増加する傾向にないか（経常収支比率とも関係）

↓

これらの傾向がみられる場合には、歳出を見直すための行政改革が必要である。

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

令和5年度の決算審査を前に大変有意義な講義でありました。森講師に本市はじめ複数の自治体の財政状況を、決算カードを用いて詳細に分析をしていただき、傾向からみた今後の財政戦略もしていただきました。

本市においては令和元年、令和2年とも財政力指数が0.88であり、財政調整基金の残高を鑑みれば、もう少し積極財政を促しても良いのではと感じましたが、インフラの更新、扶助費の増大といった課題にも柔軟に対応していく必要があり、楽観できない状況であるのは確かであると考えます。今後は予算決算審査を通じ「最小の財源で最大の効果（福祉の向上）」の基本を抑えて事業評価と政策提案を行っていく中で、必要となるものに効果的に予算を拠出していくことが大事と考え、議会議員として更なる研鑽を積んでいかなければと決意を新たにいたしました。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jordan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

| 日付 | 出発駅 | 交通手段 | 片道 / 往復 | 到着駅 | 距離 | 交通費 | | | |
|-----------------------------|------|------|---------|------|--------------|---------|---|--------|---|
| | | | | | | 運賃 | | 特急料金 等 | |
| 5 年 1 月 30 日 | 小牧空港 | 飛行機 | 片道 | 福岡空港 | 773 km | 29,000 | 円 | | 円 |
| | | | | | km | | 円 | | 円 |
| | | | | | km | | 円 | | 円 |
| | | | | | km | | 円 | | 円 |
| | | | | | km | | 円 | | 円 |
| 宿泊先名称 | | | | | 宿泊料金 | | | | |
| ホテル法華クラブ | | | | | 092-271-3171 | 7,800 円 | | | |
| 備考欄 | | | | | | | | | |

36,800 円

| 日付 | 出発駅 | 交通手段 | 片道 / 往復 | 到着駅 | 距離 | 交通費 | | | |
|-----------------------------|------|------|---------|------|--------|--------|---|--------|---|
| | | | | | | 運賃 | | 特急料金 等 | |
| 5 年 1 月 31 日 | 福岡空港 | 飛行機 | 片道 | 小牧空港 | 773 km | 29,000 | 円 | | 円 |
| | | | | | km | | 円 | | 円 |
| | | | | | km | | 円 | | 円 |
| | | | | | km | | 円 | | 円 |
| | | | | | km | | 円 | | 円 |
| 宿泊先名称 | | | | | TEL | 宿泊料金 | | | |
| | | | | | | 円 | | | |
| 備考欄 | | | | | | | | | |

小計 29,000 円

| 日付 | 出発駅 | 交通手段 | 片道 / 往復 | 到着駅 | 距離 | 交通費 | | | |
|-------------|-----|------|---------|-----|-----|------|---|--------|---|
| | | | | | | 運賃 | | 特急料金 等 | |
| 年 月 日 | | | | | km | | 円 | | 円 |
| | | | | | km | | 円 | | 円 |
| | | | | | km | | 円 | | 円 |
| | | | | | km | | 円 | | 円 |
| | | | | | km | | 円 | | 円 |
| 宿泊先名称 | | | | | TEL | 宿泊料金 | | | |
| | | | | | | 円 | | | |
| 備考欄 | | | | | | | | | |

パック等による割引など

小計 0 円

30,000 円

宿泊費 合計

交通費 合計

7,800 円

58,000 円

| |
|------------------------|
| 申請額合計 (宿泊費+交通費-割引代) |
| 35,800 円 |